



2026年6月2日 (No.3)

あるく

発行：あいち平和行進共同連絡会
連絡先：愛知県原水協 TEL:052-932-3219 FAX:052-931-2651
mail: gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで

あいち平和行進 検索 peacemarch.peace-aichi.net

X エックス
@aichi_p_march

6月1日(月) まとめ

①豊橋市役所→豊橋駅東口→JR豊川
駅・緑町公園→コープ諏訪→蒲郡三谷
若宮公園→蒲郡市役所 ②幸田町

◆参加者 のべ140人
◆募金 2万円(暫定) ◆ペナント 24本
◆折り鶴 1万5000本(暫定)

平和宣言 豊橋・豊川・幸田 非核宣言 蒲郡

自治体の平和施策と生協の取り組みの広がりにも励まされ



豊橋市役所

豊橋市役所集会の司会は服部さん。全自治体歩いていると紹介されました。

協内さんが「暑い中だが平和を訴えていきたい」と挨拶。全国通し行進者三浦コト子さんは「東京夢の島から約一カ月、雨の日もありましたが頑張って歩いています」。全国通し行進者の尾崎庸美さんは「長崎からきた被爆2世です。被爆者の思いを背負って歩いていきたい」とあいさつしました。

豊橋市からは総務部から豊橋市の「平和・交流・共生の都市宣言」や平和の取り組みが紹介されました。議会からも「核兵器、戦争のない社会を願っている」と激励の挨拶されました。しもおく議員は「今年は被爆81年の夏。世界では核兵器をめぐる緊張が高まっている。その一方で、核兵器のない世界を求める国際社会の流れも確実に広がっています。核不拡散条約(NPT)再検討会議では、7割を超える国々がNPT第6条にもとづく核軍備撤廃への具体的な行動を求めました。核兵器は人類と共存できません。いま求められているのは抑止力への依存ではなく、核兵器廃絶に向けた責任ある行動です。核兵器廃絶と平和な世界の実現、核兵器禁止条約に参加する政府をと求め、ともに力を合わせていきましょう」と連帯の挨拶。斎藤ひろむ市議は、「平和か戦争か激しい綱引きをしている局面。豊橋駅前でも平和を願う若い人たちがペンライトを持って活動されている」と連帯の挨拶がありました。最後にはそれぞれの団体から平和への想いを込めて折った折り鶴が行進団に託され、平和への想いを広島長崎へ届けます。





コープ諏訪店の前で豊川コースの集結集会



豊川市

豊川市の集会は、豊川海軍工廠慰霊碑横の公園ではじまります。1945年の大空襲によって2500人が亡くなり、多くの若者が学徒として勤労働員され犠牲となってきました。

司会の安間さんからは、辺野古の問題に触れ、文科省による政治介入は許されない。不当な支配によって戦時中、若者は戦争動員されて犠牲があった。だからこそ、平和教育は等しく誰にでも受けていく権利があると、話します。

コープ豊川のみなさんは、核兵器なくせの想いは誰もが思っている。だからこそ、みんなで平和行進に参加してきました。と賑やかにお話ししました。市会議員の安間さんは、豊川海軍工廠で多くの犠牲があったこの地域だからこそ戦争反対、核兵器なくせの平和行進を大切だと強調しました。

豊川市長より激励のメッセージが代読され、行進団は出発しました。

蒲郡市役所

歓迎集会は、市の庁舎内で行われました。職員労組から冷たい飲み物、お菓子が振る舞われました。

被爆者の脇内さんは、平和行進が県下全自治体で行われるようになったことは画期的ですとあいさつ。蒲郡市からは、核兵器廃絶を求めるこの運動に敬意を表する旨のお話の後、平和行政を報告。4年前に非核平和都市を宣言し、3年前にその記念碑を設置したことが報告されました。市職労からは、核抑止力論は核を使う事を前提にしているからこそ、核廃絶こそ大切だと力を込めました。



幸田町

この日の最後は、幸田駅前でスタンディングを行いました。地元幸田町からは、タペストリーや折り鶴が準備され、スピーチでは、被爆3世の青年の被爆の実相を受け継ぐ旨のエピソードが紹介されました。沿道からは、車の中から、自転車から応援の声が次々寄せられました。

本日 6/2 のコース

- 9:15 (集会) 10:56 14:00 (集会)
 ①岡崎市役所→岡崎公園前→南安城駅→安城花ノ木公園
 16:00 (駅前を囲む) 10:00
 ②豊田市駅⑤みよし湯前交差点→みよし市役所